

平成24年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年3月15日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 銚子丸
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年3月29日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 堀地速男
 (氏名) 越智洋

TEL 043-350-1266

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第3四半期の業績(平成23年5月16日～平成24年2月15日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第3四半期	13,267	0.3	664	△25.1	687	△24.7	318	△30.3
23年5月期第3四半期	13,230	8.9	886	15.9	913	15.7	456	5.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第3四半期	109.69	—
23年5月期第3四半期	157.27	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年5月期第3四半期	7,224	4,233	58.6	1,458.05
23年5月期	7,162	3,993	55.7	1,375.36

(参考) 自己資本 24年5月期第3四半期 4,233百万円 23年5月期 3,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の業績予想(平成23年5月16日～平成24年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,358	△0.2	624	△42.9	654	△42.0	323	△44.5	111.25

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期3Q	2,903,600 株	23年5月期	2,903,600 株
② 期末自己株式数	24年5月期3Q	273 株	23年5月期	273 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期3Q	2,903,327 株	23年5月期3Q	2,903,437 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成23年5月16日から平成24年2月15日)におけるわが国の経済は、東日本大震災による影響やその後の電力不足等による経済活動の停滞、また、欧州の債務問題に加えて急速な円高・株安の進行、10月のタイの洪水の影響等による景気下振れも懸念され足踏みが続いておりましたが、年末から消費に一部持ち直しの動きが見られ始めたこと、また円高にも一服感が出て株価も回復基調に転じたこと等により、不透明な状況の中にも明るい兆しが見えつつあります。

外食産業においては、消費者の節約志向が依然として根強く、天候も特に2月に例年になく厳しい寒さが続くなど、引続き厳しい状況が続いておりますが、一方で一部の高単価業態に客足の戻りが見られるなど、回復の動きも出てきております。

このような状況において、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、「飽きのこない旬の食材」「鮮度」「海の香り」「魚屋の精神」「番屋の雰囲気」を追求するとともに、「おいしい舞台」を完成させるために、「親切・思いやり・誠実さ」に溢れた接客・サービスを愚直に実践し、「お客様のご要望に対して、何が足りないのか」を常に考え、全社一丸となってお客様に愛される店舗づくりに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第3四半期累計期間において、南船橋店(平成23年8月)、富里店(平成23年9月)、経堂店(平成23年12月)、川越店(平成24年2月)を新規に出店し、相模原中央店(平成23年10月)を退店した結果、当第3四半期会計期末の店舗数は79店舗となりました。

販売促進につきましては、銚子丸らしい商品の拡充と時節の食材によるイベントの継続的開催及びビセットメニュー・サイドメニューのブラッシュアップを図るとともに、年末年始のテイクアウト商品と2月の恵方巻の販売を強化し、お客様の多様なニーズの取り込みに努めてまいりました結果、1月には12か月振りに既存店売上高の前年比が100%を超えました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は132億67百万円(前年同期比0.3%増)となりました。しかしながら、既存店売上高が前年同期比94.1%にとどまったこと、震災・天候不順等による原材料価格の上昇や、販売体制強化にともなう人件費増加などにより、営業利益は6億64百万円(同25.1%減)、経常利益6億87百万円(同24.7%減)、店舗に係る減損損失45百万円及び店舗閉鎖損失3百万円を特別損失に計上したこと、平成24年4月1日以後開始事業年度より法人税率が引き下げられることから繰延税金資産および繰延税金負債を取崩し、法人税等調整額が27百万円増加したこと等によって、四半期純利益は3億18百万円(同30.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ61百万円増加し、72億24百万円(前事業年度末比0.9%増)となりました。主な要因は、次のとおりです。

流動資産は、前事業年度末に比べ61百万円増加し、41億63百万円(同1.5%増)となりました。増加の主な内訳は、現金及び預金1億25百万円の増加、ならびに預け金44百万円の減少であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ0百万円減少し、30億60百万円(同0.0%減)となりました。これは、当第3四半期累計期間において4店舗を新規出店したことによる店舗設備、敷金及び保証金の増加があった一方で、減価償却等により店舗設備等の減少、ならびに繰延税金資産の減少があったことによるものであります。

(負債・純資産)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億78百万円減少し、29億90百万円(前事業年度末比5.6%減)となりました。主な要因は、次のとおりです。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億81百万円減少し、23億6百万円(同7.3%減)となりました。減少の主な内訳は、未払金75百万円の減少、ならびに未払法人税等1億8百万円の減少であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3百万円増加し、6億84百万円(同0.4%増)となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ2億40百万円増加し、42億33百万円(同6.0%増)となりました。これは当第3四半期累計期間の四半期純利益3億18百万円及び第34期期末配当金の支払78百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年12月15日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月15日)	当第3四半期会計期間 (平成24年2月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,568,121	3,693,625
売掛金	4,612	6,215
原材料及び貯蔵品	212,943	199,435
預け金	105,435	61,050
その他	210,763	202,931
流動資産合計	4,101,877	4,163,257
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,093,954	1,128,302
その他(純額)	559,628	538,986
有形固定資産合計	1,653,582	1,667,288
無形固定資産		
投資その他の資産	20,924	23,925
敷金及び保証金	744,852	782,121
建設協力金	349,855	334,719
その他	292,840	253,902
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,386,470	1,369,665
固定資産合計	3,060,977	3,060,879
資産合計	7,162,855	7,224,137
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,022,086	968,495
短期借入金	150,000	235,000
未払金	759,952	684,202
未払法人税等	285,247	176,653
賞与引当金	65,600	18,830
株主優待引当金	25,688	22,475
その他	180,002	201,104
流動負債合計	2,488,577	2,306,761
固定負債		
資産除去債務	154,609	162,656
長期末払金	359,700	359,700
その他	166,834	161,830
固定負債合計	681,143	684,186
負債合計	3,169,721	2,990,948

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月15日)	当第3四半期会計期間 (平成24年2月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	3,441,087	3,681,159
自己株式	△636	△636
株主資本合計	3,993,231	4,233,303
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△97	△113
評価・換算差額等合計	△97	△113
純資産合計	3,993,133	4,233,189
負債純資産合計	7,162,855	7,224,137

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成23年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年5月16日 至平成24年2月15日)
売上高	13,230,645	13,267,124
売上原価	5,433,806	5,520,712
売上総利益	7,796,839	7,746,412
販売費及び一般管理費	6,910,165	7,081,884
営業利益	886,674	664,527
営業外収益		
受取利息	4,678	4,199
協賛金収入	18,772	18,126
その他	11,078	7,621
営業外収益合計	34,529	29,947
営業外費用		
支払利息	4,204	4,030
現金過不足	2,722	2,249
その他	510	465
営業外費用合計	7,437	6,745
経常利益	913,766	687,728
特別損失		
減損損失	—	45,901
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	61,763	—
店舗閉鎖損失	—	3,611
特別損失合計	61,763	49,512
税引前四半期純利益	852,003	638,216
法人税等	395,390	319,754
四半期純利益	456,612	318,462

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。